



平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月8日

上場会社名 わらべや日洋株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2918 URL <http://www.warabeya.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 妹川 英俊
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 森浦 正名 (TEL) 042-345-3131
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績 (平成25年3月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	141,381	6.7	3,726	△0.6	3,954	0.1	2,378	13.6
25年2月期第3四半期	132,469	8.1	3,749	△2.3	3,948	0.1	2,093	20.0

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 2,508百万円(20.5%) 25年2月期第3四半期 2,082百万円(21.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	135.05	—
25年2月期第3四半期	126.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第3四半期	75,036	38,923	51.9
25年2月期	65,941	36,943	56.0

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 38,923百万円 25年2月期 36,943百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	30.00	30.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成26年2月期(予想)の期末配当の内訳 普通配当30円00銭 記念配当5円00銭(創立50周年記念配当)

配当予想の修正については、本日(平成26年1月8日)公表いたしました「平成26年2月期 配当予想の修正(創立50周年記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成26年2月期の連結業績予想 (平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	186,000	6.3	4,000	2.1	4,200	2.1	2,200	1.7	124.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期3Q	17,625,660株	25年2月期	17,625,660株
26年2月期3Q	11,226株	25年2月期	11,026株
26年2月期3Q	17,614,515株	25年2月期3Q	16,614,835株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	P. 6
四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) セグメント情報等	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融緩和等の政策により、株価が上昇し、円高是正も進むなど、景気は緩やかに回復しております。

食品業界では、消費者の低価格志向が継続する一方で、原材料価格の高騰などもあり、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような状況下、当社グループは、主要顧客であるセブン-イレブン・ジャパンの積極的な出店や、チルド温度帯商品の販売伸長などにより、売上を拡大しました。また、今後見込まれる生産量の増大に対処するため、3月に相模原工場第二（和菓子専用施設）を稼働、11月には名古屋工場の増改築工事を完了し生産能力を増強しました。さらに、セブン-イレブンの四国進出に伴い、3月から新エリアである同地区への納品を行ない、12月末からは香川工場での生産を開始しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,413億8千1百万円（前年同期比89億1千1百万円、6.7%増）となりました。一方、利益面では上期の米価上昇などにより、営業利益は37億2千6百万円（前年同期比2千3百万円、0.6%減）、経常利益は39億5千4百万円（前年同期比5百万円、0.1%増）となりました。四半期純利益は、前年同期に計上した特別損失3億5千1百万円（倉庫閉鎖損失2億5千3百万円、固定資産売却損9千7百万円）が解消し、23億7千8百万円（前年同期比2億8千5百万円、13.6%増）となりました。

セグメントごとの事業概況は、以下のとおりです。

[食品関連事業]

セブン-イレブンの四国エリア進出を含む納品店舗数の増加、「チルド弁当」、「チルドロールサンド」、「チルドパスタ」などの売上が伸長したことにより、売上高は1,095億9千7百万円（前年同期比79億3千7百万円、7.8%増）となりました。一方、営業利益は、増収効果はあったものの、上期の米価上昇などの影響を受け30億6千4百万円（前年同期比1億5千7百万円、5.4%増）にとどまりました。

[食材関連事業]

水産加工品の取扱高が増加したことなどにより、売上高は177億3千9百万円（前年同期比1億9千8百万円、1.1%増）となりました。一方、営業利益は、円安の影響などにより2億3千万円（前年同期比6千5百万円、22.2%減）となりました。

[物流関連事業]

セブン-イレブンの店舗増加に伴う店舗配送の拡大などにより、売上高は94億5千7百万円（前年同期比6億1千6百万円、7.0%増）となりました。一方、営業利益は、増収効果はあったものの、四国地区などに新規開設した営業所の一時的費用発生や、燃料単価上昇などの影響を受け、1億3千6百万円（前年同期比7千8百万円、36.4%減）となりました。

[その他]

人材派遣事業において、自動車関連向けの売上が減少したものの、食品製造設備事業の好調により、売上高は45億8千7百万円（前年同期比1億5千9百万円、3.6%増）、営業利益は2億9千3百万円（前年同期比2千7百万円、10.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べて90億9千4百万円増加し、750億3千6百万円となりました。これは現金及び預金、受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。

負債については前連結会計年度末に比べて71億1千4百万円増加し、361億1千2百万円となりました。これは支払手形及び買掛金、未払金が増加したことによるものです。

純資産については前連結会計年度末に比べて19億7千9百万円増加し、389億2千3百万円となりました。これは、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことおよび利益剰余金の配当によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期通期の連結業績予想は、平成25年10月3日付「平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」で発表しました数字から変更していません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,999	10,782
受取手形及び売掛金	14,339	17,464
商品及び製品	2,807	3,143
原材料及び貯蔵品	749	866
その他	2,226	2,495
貸倒引当金	△83	△108
流動資産合計	26,037	34,643
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	39,202	41,186
減価償却累計額	△23,561	△24,375
建物及び構築物(純額)	15,641	16,811
機械装置及び運搬具	15,887	16,045
減価償却累計額	△11,808	△12,222
機械装置及び運搬具(純額)	4,079	3,823
土地	12,505	12,382
建設仮勘定	987	19
その他	4,840	5,940
減価償却累計額	△2,347	△2,864
その他(純額)	2,492	3,075
有形固定資産合計	35,706	36,112
無形固定資産		
その他	503	380
無形固定資産合計	503	380
投資その他の資産		
その他	3,696	3,902
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	3,693	3,899
固定資産合計	39,904	40,393
資産合計	65,941	75,036

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,435	11,470
短期借入金	100	—
1年内返済予定の長期借入金	1,294	1,259
未払金	5,761	7,975
未払法人税等	747	1,052
賞与引当金	738	1,160
役員賞与引当金	—	112
その他	2,199	2,888
流動負債合計	19,276	25,919
固定負債		
長期借入金	4,745	4,600
退職給付引当金	1,976	2,010
資産除去債務	784	961
その他	2,213	2,620
固定負債合計	9,720	10,192
負債合計	28,997	36,112
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,049	8,049
資本剰余金	8,143	8,143
利益剰余金	20,802	22,652
自己株式	△16	△17
株主資本合計	36,979	38,829
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46	103
繰延ヘッジ損益	13	12
為替換算調整勘定	△94	△22
その他の包括利益累計額合計	△35	94
純資産合計	36,943	38,923
負債純資産合計	65,941	75,036

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	132,469	141,381
売上原価	112,410	120,257
売上総利益	20,059	21,123
販売費及び一般管理費	16,310	17,397
営業利益	3,749	3,726
営業外収益		
受取利息	10	9
受取配当金	216	232
受取賃貸料	123	119
その他	137	180
営業外収益合計	488	542
営業外費用		
支払利息	99	84
固定資産除却損	54	83
賃貸収入原価	72	68
その他	62	78
営業外費用合計	288	315
経常利益	3,948	3,954
特別損失		
固定資産売却損	97	—
倉庫閉鎖損失	253	—
特別損失合計	351	—
税金等調整前四半期純利益	3,597	3,954
法人税、住民税及び事業税	1,616	1,793
法人税等調整額	△112	△218
法人税等合計	1,504	1,575
少数株主損益調整前四半期純利益	2,093	2,378
四半期純利益	2,093	2,378

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,093	2,378
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	57
繰延ヘッジ損益	△17	△0
為替換算調整勘定	△1	72
その他の包括利益合計	△11	129
四半期包括利益	2,082	2,508
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,082	2,508

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	101,660	17,541	8,840	128,042	4,427	132,469	—	132,469
セグメント間の 内部売上高または振替高	0	1,063	1,858	2,921	8,233	11,155	△11,155	—
計	101,660	18,604	10,699	130,964	12,661	143,625	△11,155	132,469
セグメント利益	2,907	296	214	3,419	266	3,685	63	3,749

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品製造設備の販売、人材派遣、業務請負を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額63百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「物流関連事業」において、閉鎖予定の倉庫について倉庫閉鎖損失253百万円（減損損失203百万円、撤去費用50百万円）を特別損失に計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	食品関連 事業	食材関連 事業	物流関連 事業	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	109,597	17,739	9,457	136,794	4,587	141,381	—	141,381
セグメント間の 内部売上高または振替高	0	1,183	2,136	3,319	10,217	13,537	△13,537	—
計	109,597	18,922	11,593	140,114	14,805	154,919	△13,537	141,381
セグメント利益	3,064	230	136	3,432	293	3,725	0	3,726

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品製造設備の販売、人材派遣、業務請負を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額0百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。